

【タイトル】	表面採水
【サブタイトル】	
【観測期間】	1966年～現在
【観測風景】	
【データ概要】	<p>定点において停船し、CTD観測に並行して表面採水を採水バケツにより行う。表面採水はCTD観測時とは別にもう一回XBTまたはXCTD観測時に航走しながら行う。CTD観測がない日は一日2回行う。得られた海水試料につきpH、溶存酸素、栄養塩の分析を行う。</p>
【データ名】	表面採水分析データ
【観測点】	インド洋 南極海 太平洋
【データ形態】	アナログ及びデジタルデータ
【データ期間】	1966年～現在
【データ取得サンプリング】	定点
【観測機器】	<p>採取した海水を、塩分・溶存酸素(ウンクラーカーペンター法)・リン酸塩(モリブデン青吸光光度法)・ケイ酸塩(モリブデン青吸光光度法)・亜硝酸塩(ナフチルエチレンジアミン吸光光度法)・硝酸塩(銅・カドミウムカラム還元、ナフチルエチレンジアミン吸光光度法)・アンモニア(インドフェノールブルー法)・pH(ガラス電極法)について分析</p>
【データ公開】	JAREデータリポート・JODC(http://www.jodc.go.jp)
【データサンプル】	
【データ管理者(問合せ先)】	海上保安庁
【e-mail】	
【関連機関】	
【主な研究成果】	